



BFH(Baby Friendly Hospital)
赤ちゃんにやさしい病院

岩手県立磐井病院
母乳育児推進委員会
委員長 天沼 史孝

「治療を必要とする赤ちゃんの母乳育児支援」 Neo-BFHIの紹介

新生児集中ケア認定看護師 四垂 真弓 主任より



当院は2019年に「赤ちゃんに優しい病院(BFH)」として認定されました。そこで「母乳育児成功のための10ヵ条」に沿った支援を行うことで母乳育児の期間と母乳で育てる割合が増えています。この10ステップでは産科施設の指針で、早産・低出生体重児など赤ちゃんに治療を要する施設ではそのまま適応できないことが問題でした。そこで2009年、WHO/UNICEFにより、BFHを新生児病棟(NICU)へ拡大する活動が始まりました。家族がNICUで24時間カンガルーケアを継続出来るようなケアを行っている欧米とカナダの医療専門家が中心となり、2015年にBFHIのNICUへの拡大版「Neo-BFHI(The baby Friendly Hospital Initiative for Neonatal Wards)」がリリースされました。「母乳育児成功のための10ヵ条」を基本に**新生児病棟で母乳育児を進めるために「いつでも家族と赤ちゃんが一緒にいられる環境を整えること」「家族の力を信じ、引き出すようなサポートを分娩前から退院後も継続して行うこと」**など、**赤ちゃんの治療をする場(NICU)で母乳育児をすすめるための取り組み**が示されています。母乳、母乳と固執するのではなく、家族の思いを想像し、継続的に支え続けるシステムや配慮が大切ですね。

地域の皆様にはいつもお母さんと赤ちゃんの健康を見守って頂きありがとうございます。来年度当院はBFHIの認定を目指します。



今後どうぞご協力宜しく御願います



磐井病院Hpでバックナンバーもご覧になれます。是非ご参照ください

